

週刊 学びのコミュニティ

第 22 号

平成 21 年 7 月 22 日発行

【報告】

先週この紙面においてご紹介いたしました李教授と、生涯学習懇談会を行いました。今回はその中で話し合われた内容についてご報告いたします。



李教授が、韓国の釜山大学から徳島大学に訪問されて二週間以上が経ちました。教授には共創型授業のいくつかに参加していただいたほか、先週 7 月 16 日、李教授ほか 3 名で、韓国と日本の生涯学習の現状について親しく懇談する機会を持ちました。大枠としては、両国を取り巻く社会状況と生涯学習の課題について話し合いました。

冒頭中恵から、現在“グローバル化という同質化”と、“多文化社会という多様化”、この二つのベクトルがあって、生涯教育をする側も、学習する側も、二つが混同されたまま、実践されているという話題提供がありました。これに対して李教授は、ワーカーとしての外国人労働者、婚姻による外国人妻の韓国への入国の増加があり、それらは高学歴の在住者と英語・ハングルともに話せない在住者に分かれ、韓国社会へ適応するものと、集団（といってもコミュニティを形成するまでにはいってない）としての外国人の両方に対応していく必要に迫られていることが話されました。

次に中恵は海外への産業移転、国内への外国人労働者の増加などがあり、産業構造の変化とともに、それぞれの産業の担い手についても変化していること、学部学生が専門教育を受けても多くは第 3 次産業に就職するのであり、それにより教養教育の重要性が高まっていること、そこから生涯

学習の始まりとして大学の教養教育を位置づける見方があるという紹介をしました。これに対し李教授は、韓国では女性の高学歴化とキャリア志向の高まりなどによって生涯学び続けるというニーズを持った人口の増加と、それとは逆に少子化による新高卒者の減少により、そもそも大学は生涯学習者をサービスの対象として考えていかなければならないことが話されました。

中恵は、日本でも少子化による人材確保が政策の一つになっており、主婦や退職者というこれまでの生涯学習の担い手を人材として活用しようという意向があることを話し、国はそれら担い手がボランティアに参加することや再就職することといった、社会参加に対して支援していくという試みがされつつあることを話しました。その点について李教授から、コミュニティのメンバーとしての生涯学習の蓄積を活用しようというのが GP の試みであり、それは資格取得による再就職とは別の次元の社会参加と位置づけられているのですねと、私たちの試みに理解を示していただけました。

その他参加者すべてから、さまざまな両国の現状報告があり、会は盛り上がりましたが、ここでは中心となった話題について報告しました。（中恵 真理子）



特別授業 日食観測会

今日、7月22日には日本全国で部分日食が見られます。また、奄美大島北部、屋久島、種子島北部など、ごく一部の地域では46年ぶりに皆既日食（継続時間が今世紀最大。次に見られるのは26年後。非常に珍しいと言えそうです）を観測することができます。これを書いている21日14時現在は雨。今日は、無事に日食を楽しむことができているでしょうか??

今回の日食を楽しんで観測するため、**伏見賢一准教授**による『日食観測会』が、4回に渡り開かれています。その第1回目として、7月15日（水）

14時30分～学生支援室にて、授業が行われました。日食とは？日食の見られる時間と場所、安全に観測するためにはどうしたらよいか…など、日食観測に関する基礎的な知識を身に付けました。その後、外に出て望遠鏡を組み立て、段取りの確認を行いました。

当日は地域住民のみなさんも観測に来られ、混雑することが予想されます。伏見先生、天文部の学生さんの指示に従い、安全に、そして楽しく観測したいものです。私も専用のフィルムを付けて、写真撮影に挑戦したいと思います。上手くカメラに収めることができれば、ご紹介させていただきます。

徳島における 食の**始まり**：9時45分 **最大**：11時04分 食の**終わり**：12時24分

★今週のおすすめ★

医学部保健学科の学生さん

書籍：**民主主義という不思議な仕組み**

著者：佐々木 毅 出版社：筑摩書房



書評

借りたきっかけは単なるレポートのためでした。「とりあえず題名で内容がわかるもの」で、手近にあったこの本を手に取りました。

この本では、名前の通り民主主義について書かれています。世界的に広がる見主主義、さまざまな形で発達した民主主義の特徴と問題点。日本は今後どうしたら良いのか。

選挙権を持つ人もそうでない人も、一度民主主義の中で何ができるのか。この本を手にとって考えてみてください。

おすすめ度 ★ ★ ★ ★ ☆

～編集後記～

46年ぶりの皆既日食が観測できる今年は、世界天文年でもあります。ガリレオ・ガリレイによる天体望遠鏡を用いた初めての天体観測から400年目であることを記念し、世界中の人々に天文学と宇宙への関心を持ってもらうことを目的とした企画であるそうです。広大な宇宙の中に存在する地球と、生命の誕生と進化のはなしは、興味深く、尊さを感じずにはられません。この機会に宇宙の偉大さ、生命や人間の不思議さに想いを馳せてみてはいかがでしょうか。（境）

